

レートが統制経済下にあっても弱く、円表示の値段そのものが値上がりしているということだった。

僅か一年ほどしか経過していないので、古本が高く売れた背景として、貿易規制強化と為替レートの実勢、円安が作用したことを実体験し、驚きを禁じ得なかった。

三年の時、糸魚川教授から外国為替論を習ったが、人ごとではなく、実際問題として真剣に勉強できたのも、西英辞書売買に伴う、古本の値上がりによるインパクトがあったからだと思っている。

### むすび

人生にはいろいろな出会いがある。も

しロシア語を選択していたら、陸軍に現役入隊した私は、満州の牡丹江で青年将校として軍務に服していたこともあり、敗戦後、ソ連へ長く抑留されたかも知れない。

糸魚川教授の校庭での十五分か二十分のスペイン語学習の勧告スピーチを聞かなかったら、恐らく花村先生との出会いはなかったであろう。

ともかく、十名の同期生は真面目に授業に出席した。「緑が丘」の環境がよく、語学の高商としての伝統があり、そこで若くてやる気充分な花村先生に出会ったのは、まことに幸運だった。

同期会があると、スペイン語を勉強した連中が自然に集まることが多い。授業

## 人口問題の今昔 ——人口論発展史を再読して——

二十一世紀には、世界人口が百億に達するという。その時の供給可能な食糧は、

八十億人分しかないと聞く。人口過剰は世界中に広がって、飢餓難民は地上に溢

こうした事態は杞憂に過ぎないと言いかれようか。

かつて緑丘で人口論の端緒を学んでから五十余年の間、特に関心を持つことなくきたが、右の様な人口爆発の警告に触れて、自分なりに考えてみた。

人口は歴史的に、常に社会制度と自然に左右されてきた。政治や経済の進歩につれて人口は増加してきたが、そのテンポは決して一本調子ではなかったようだ。日本でも江戸時代後半の百二十年間の人口は、三千万人そこそこと殆ど変わらなかったらしい。その頃、庶民の家族が生きのびるために行った殺兒(まびき)は公然の事実であった。人間の本性に倅るこうした行為は、幕藩封建体制下の苛斂誅求と、天災に非力な農業の低生産力などが然らしめたものであろう。

日本で、人口問題が本格的に登場したのは、南亮三郎先生著「人口論発展史」(昭和十一年(一九三六年)三省堂発行、定

価二円八〇銭)によれば、昭和に入ってからである。

直接的な契機は、昭和元年(一九二六年)、初めて正確な国勢調査が実施され、年間の人口増が百万人と判明、国内に大きな不安感を呼び起こしたことにある。当時の様子をよく表現する言葉は「アレヨ、アレヨという間に燃え抜がった火の手」であった。忽ちにして人口論議が沸騰し、政治家や学者、さらにジャーナリズムまで巻き込み、侃々諤々たるものであった。

世界恐慌に続いて日本におきた昭和恐慌は、極めて深刻で長い不況を齎した。その中の毎年の人口急増であっただけに衝撃は大きかった。農村も都会も生活難に呻吟した。農村では小作争議が、都会では労働争議が頻発したが、昭和初期は日本資本主義発達過程にあつて、初步的な社会政策すら無きに等しい苦渋に満ちた時期であった。幼少だった筆者にも暗い社会面の出来事と共に、右翼テロや左翼弾圧などの政治的事件の記憶がある。

には厳しかったが、親身になって教えて下さった花村先生を忘れることができないからであろう。

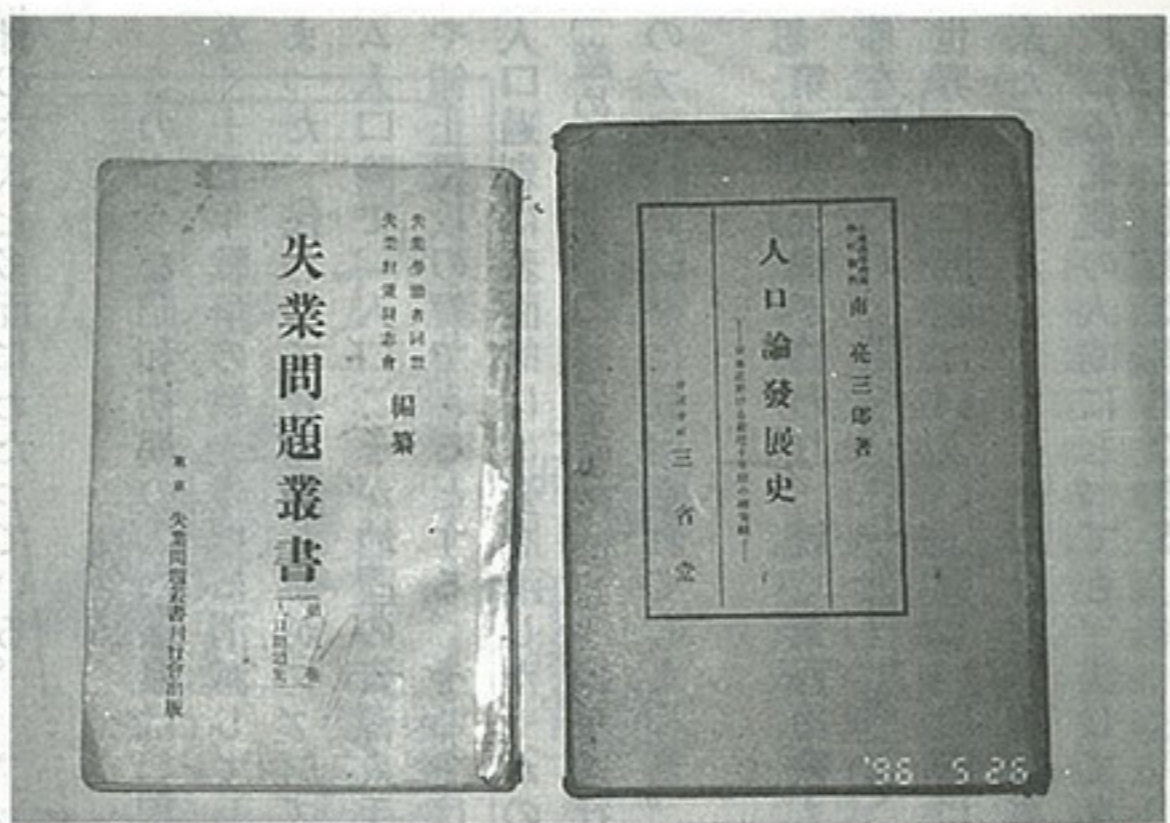
スペインへは、既述のブエノ博士を訪ねて出張したほか、家内とともに観光旅行もした。糸魚川教授の言葉を引用するまでもなく、スペイン語は習得するのに十分価値のある外国語である。

花村先生のもとで、卒業するまでみっちりスペイン語を勉強していたら、私ももう少し幅広い人間になっていたことは疑う余地がない。

### 清水 撰三

(昭和16年後卒)

れるに至り、食糧を求める群衆の大移動と凄惨な食糧の奪い合いが各地で始まる。



当時の人口論説、論争の概要は、右の「人口論発展史」で全容を系統的に知ることが出来る。副題を「日本における最近十年間の総業績」とするこの本は、昭和元年から同十年(一九二六—三五年)の間に行われた、経済、社会、政治、生物、



は、比較的気前よくお金を出してくれたので、ロシア語の辞書もすぐ買って貰えるものと楽観していた。

処が返事は意外に、いつもとは違って「ロシア語だけはやめて、ほかの外国語にした方がよい」と反対された。

理由を訪ねると、ロシア語が上達すれば、思想的にいわゆる「赤」(当時非合法の共産主義者)になるのではないかという懸念からであった。私は、母親が心配するほどロシア語が堪能になるわけがないし、学校の教育方針に大体順応していたノンポリ型だったので「赤」になることもないであろう。だから、母の意見は杞憂として無視し、ロシア語を学ぶことにして、すでに教務課へ届け出を済ませていたのである。

### 糸魚川教授のスペイン語のすすめ

ところが、九月中旬、二学期も始まる直前に、校内放送によって、「昼休みに第二外国語について説明を行うので、全員校庭へ集合するように」との案内があつた。

之助教授と殆ど同じだったが、何せ受講生は十名しかいないので、授業中五、六度は当てられるので気を抜くことは全くできなかった。

半世紀以上を経過した今でも、基本動詞のコンプロの人稱による語尾変化、オ、アス、ア、アモス、アイス、アンをはじめ、ラ・カアサ・エス・ムー・グランデ、コモ・エスタ・ウステなど、簡単なスペイン語が口から出てくる。卒業後、特にスペイン語を勉強したわけではないのに、今でも諳んじているのは、自分でも不思議というほかない。

さて、これだけなら、外国語について特に指摘するような話ではなく、ドイツ語、フランス語、中国語などを勉強した同窓生にも、それぞれの言葉に「なじみ」や「思い出」があるだろう。だが私の場合、さらに次の二点を追加しなければならぬ。

一、私的なことで恐縮だが、第二の職場は食料・農業関係の研究機関で、わが

た。

昼休みは、大抵、校内放送でラジオ体操の音楽が流れ、そのあと校歌を放送するので、いつの間にか校歌を覚えたものだ。だが、その日は教務課長の糸魚川教授から、大要次のようなスピーチが行われた。

「二学期から諸君は第二外国語を選択科目として学ぶことになったが、スペイン語を選択した学生は二百二十人中たった二人しかいない。

スペインは諸君も知っているように、かつて世界の一流国であり、スペイン語は現在でもスペインは勿論、中南米諸国やフィリピンでも通用する。ブラジルはポルトガル語だが、スペイン語とポルトガル語は東京弁と鹿児島弁ほどの違いしかない。

わが国が国際貿易を推進していく上で、英語に加えスペイン語を知っていることは海外雄飛に大いに役立つ。それにラテン系の言葉なので、イタリア語、フランス語とも関連が深く、西欧文化を理解する

国の農業構造改革のため、スペインのやり方がきわめて参考になることが分かった。

そこでマドリッドに本部のある農業改革・開発院(IRD A-イリダ)のミゲル・ブエノ博士を日本へ呼んで、同国の農業改善策の講演を聞くことにした。講演の内容は専門的で面白くないので割愛させて頂くが、講演のあと博士と夕食を共にした。その席で歓迎の意味も込めて、昔、小樽でスペイン語を勉強したことを、併せて記憶にあるスペイン語を順序不同で二三分、早口でまくしたてた。

話し終わったら、ブエノ博士は、「話し終わったなら、スペイン語はよく分かる。」と、一応ほめて下さった。だがそのあとに続けて、「しかし、メキシコ訛がある」とコメントされた。

ここで花村先生の留学先について述べなければならぬ。

当時、軍事物資の輸入が優先されて外貨が窮屈になり、本来先生はマドリッド

の上でも有用な言語である。

幸い花村助教授という新進気鋭の先生がいらつしやるのだから、先生についてスペイン語を習ってはどうか」といふ勧告の言葉であった。

変更希望者は一学期末までに教務課へ届け出るようにとのことであった。

二、三日考慮したあと、私は糸魚川教授の勧告に従ってロシア語からスペイン語に変更した。この結果、同期生十名が週二時間、スペイン語を習うことになった。なお、母にロシア語をやめた旨を伝えると、「それはよかった。」と言って満足そうだった。

### 授業内容と成果

花村先生の授業は、最初の学期は教科書がなく、先生の説明とノートをとることが主体だった。そして辞書は、日本出版されているスペイン語Ⅱ日本語よりも、スペイン語Ⅱ英語という洋書の方がよいと、最初の授業時間に話された。

授業の進め方は、英語で著名な浜林生

へ留学する筈だったが、外貨節約のためメキシコへの留学を余儀なくされ、その後、小樽へ赴任されたのである。

既に読者はお気付きだろうが、私のスペイン語の発音にメキシコ訛のあるのは当然で、先生の発音が身にしみたことはまことに光栄だと誇りに思っている。

二、先生の推せんにより、スペイン語Ⅱ英語の新しい洋書の辞書を購入した。値段はたしか五円位だったと思う。

だが、まことに申し訳ないことをしたが、三年の新学期には、先生がご病気で長期療養されたため、プランクが多かったこともあって、選択科目をスペイン語から契約法や農業政策に換えた。それで洋書の辞書は使用しなくなり、市内の古本屋へ売却することにした。その時六円で引き取ってくれた。

たまたま古本屋の主人とは顔見知りだったので値上がりの理由を聞くと、臨戦体制になってから、この洋書は原則として輸入禁止になっていること、外国為替



花が咲いた。ストーリー先生は、この集まりの中で一番古い友人はMr. Kamakuraで、次は伊藤女史であるという。私はドロシー夫人に「奥様より私の方が先生とは古いおなじみです」と申し上げる。今日の記念にと、私は用意してきた二枚の色紙を拵げた。一枚は先生にさしあげ、あとの一枚は私がいただくためである。

最初にストーリー先生が書いて下さる。

This is indeed a memorable day; here I am surrounded by dear friends.

It is like a dream. Richard Story  
3. Dec. 1973

次に寛仁親王殿下

「史上最悪のDr. Richard Storyの生徒！寛仁」とユーモアたっぷりの御言葉。

ドロシー夫人  
How lovely to be in Japan again and meeting all those old friends.

Dorothe Story

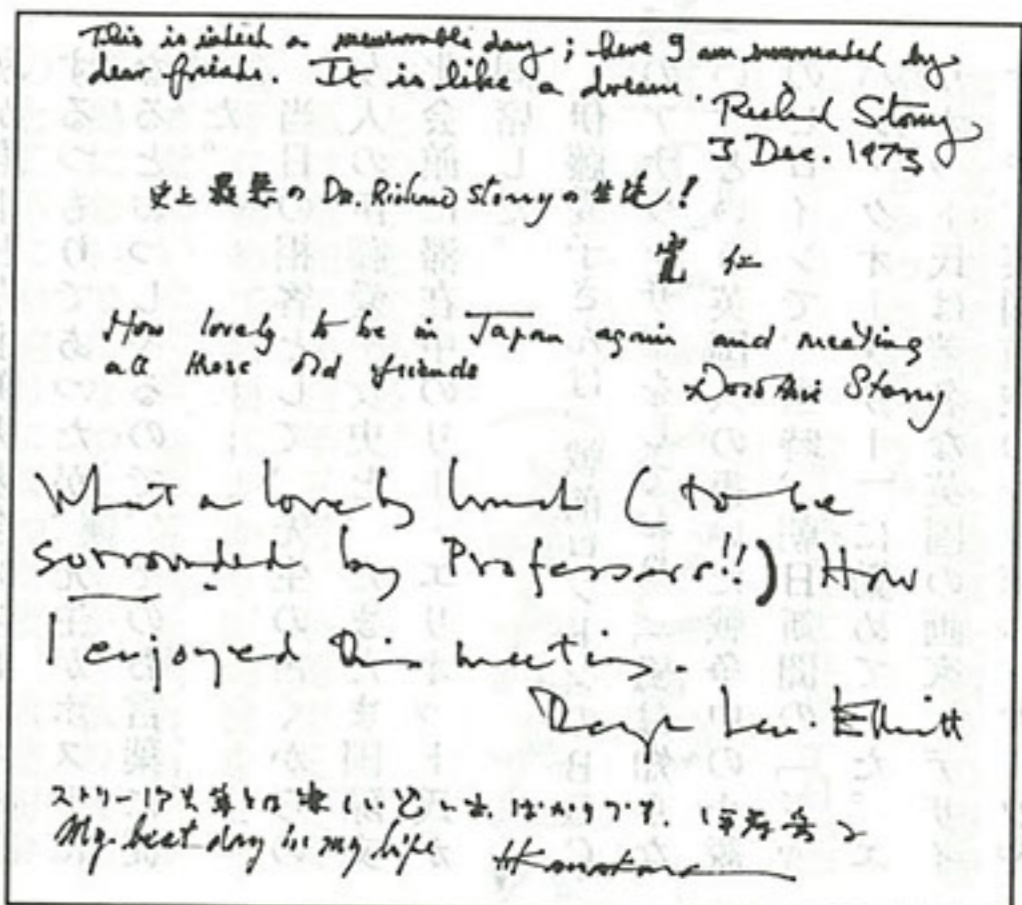
エリオット氏

What a lovely lunch (to be surrounded by Professors!!) How I enjoyed this meeting.

Lee Elliott

伊藤愛子さん

「ストーリー御夫妻とは楽しい思い出ばかりです。」



最後に私は、  
My best day in my life  
と書いた。イロハ先生のロシヤ語の習  
食後庭に出て、初冬のやわらかな日ざしをあびて記念の撮影をし、つきせぬ名残りを惜しみつつお別れをした。忘れ得ぬ一日であった。



## 花村哲夫先生の思い出

### —先生との出会いの風景—



講義中の故花村哲夫教授

はじめに

人との出会いは、一般に長いことが親しさを増すものだが、逆に短くても一生忘れることのできな人もある。私にとって、花村先生は正に後者に属し、先生から受けたご薫陶は、いつも感謝、頭の下がる思いがする。

勿論、ほかの先生方も皆教育には熱心で、それぞれの思い出があるが、ここで

は花村先生との関係を中心にして、先生との出会いの風景を述べてみたい。在学当時—昭和十三年（一九三八年）、先生はスペイン語を担当され、同期生で先生の授業を受けた者は僅か十人で、教室では先生から正に一对一の教育を受けた。いや受けざるを得なかったことで懐かしさを一層鮮明にしている。

### 第二外国語は五カ国

ところで、花村先生との出会いが、そんなりと実現したわけではなかった。当時の小樽高商は、全国的に「語学の高商」といわれるほど外国語の講座は充実していた。英語が第一外国語で、第二外国語にはドイツ語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語の五カ国語があり、これら五カ国語のうちから、どれか一つを

選択しなければならなかった。授業開始は一年の第二学期が始まる九月二十一日からだったが、九月上旬までに、各自、自分の好む第二外国語を教務課へ届け出ることになっていた。

## 林 利宗

(昭16年前卒)

この時、私はロシア語を届け出た。理由を聞かれると実は困るのだが、白系ロシア人のスミルニッキ先生は、試験の答案に、自分の名前をロシア語つづりで正確に書くことができれば、五十点以下はつけない。いわゆるツカムことはないという評判だった。それで、イージーゴリングな動機から選択したのがロシア語だった。

ロシア語を選択すればロシア語の辞書が必要になるので、母親に辞書の代金を貰いたいと申し入れた。従来母は学校で必要な教科書や参考書などを買う場合に



# 緑丘

## ●巻頭随筆

Prosit! (乾杯!).....	嶋 昭吉.....	2
雑感.....	秋岡 久三.....	3
今までに一番長かった一時間.....	佐藤 洋司.....	5

## ●特別寄稿

学長再任にあたって.....	山田 家正.....	7
母校と地域連携の取り組みについて —「地域経済社会システム研究会」の誕生—.....	瀬戸 篤.....	11

## ●ビジネス最前線

—コンピューターソフトビジネス— 家庭の主婦から会社経営へ.....	三村 孝子.....	16
---------------------------------------	------------	----

## ●随想・手記・短歌・俳句

私大教官室で恩師と邂逅.....	神部健之介.....	19
六十一年前の旅客機搭乗に思いを馳せて.....	岡本 元次.....	20
ストーリー先生のことども (ふたたび).....	鎌倉 啓三.....	24
花村哲夫先生の思い出 —先生との出会いの風景—.....	林 利宗.....	27
人口問題の今昔 —人口論発展史を再読して—.....	清水 撰三.....	30
緑丘と山岳部の思い出.....	相川謙二郎.....	33
ドリイングレーの幻影 —株主総会異聞—.....	井出 章.....	39
緑丘と父 —父、苦米地英俊の思い出—.....	苦米地和夫.....	43
エバーグリーン講座 回顧と展望.....	青木 鎮夫.....	62
川 柳.....	戸谷太通三.....	67
柳短詩遊吟.....	大河平福朗.....	68
(俳句) 秋爽.....	樋口 健三.....	69
句苑緑丘 [30].....		70
俳書 (20) (句苑緑丘 [30] より).....		71

## ●追悼

コートで倒れた先輩渡辺文郎さん.....	室谷 邦雄.....	72
緑丘会副理事長 小樽支部長 初谷真一君を悼む.....	野澤 悌三.....	74
物故会員.....		76

## ●緑丘往来

学園だより.....	秋山 義昭.....	85
支部だより.....		89
同期会だより.....		94
緑の紙風船.....		105
第57回通常総会報告.....		115
事務局便り.....		136
会館利用日誌.....		144
会員異動通知.....		148
編集後記.....		179

表紙画 尾形圭介 (昭34年卒)

# 慶祝 春夏秋冬日々青春・而寿比南山更有福!

## —— 蜜蜂は生命を育む ——

ご健康にヨリ若々しく、快適な日々を送られますよう祈念して、共済健保・年金者連盟で好評の健康食品をご案内申し上げます。蜂産品、特に蜂蜜は代表的健康食品で、祝寿品・贈答品のトップを占めております。

品名	連番	容量	税込特価	参考説明	
ハンガー蜂蜜公団特選 ハンガリーアカシア	1	1kg×2ヶ	¥ 4,000	公団ラベル付の蜂蜜は「蜂蜜界の女王」と云われる世界のトップブランドです。まろやかな風味と琥珀の色は蜂蜜愛好者を魅了し、独占しています。果糖分が抜群に多く、冬期にも結晶しません。果糖は血糖値をコントロールしますので、高壮年者にはお誂え向きのハチミツです。蜂蜜は胃腸に負担をかけないで、ビタミン・ミネラル・蛋白・酵素が摂取される完全栄養食品です。	
	2	7.2kg	¥12,000		
	3	12kg缶	¥15,000		
緑の蜂蜜(クロレラCGF配合) クロレラハネー	4	1kg×2ヶ	¥ 4,600	クロレラは淡水産緑藻から精製された良質の高蛋白食品で、8種類の必須アミノ酸・ビタミン(特にビタミンAはβ-カロチンとして最高率)・ミネラル・クロロフィルをバランスよく含んでいます。これらの諸成分は、人体の生理機能を活性化し、生物の成長因子(CGF)を構成します。本品はハンガリーアカシアにクロレラのCGFを配合した独特の蜂蜜で、特に高齢者に愛用されています。	
	5	7.2kg	¥15,000		
	6	12kg缶	¥18,000		
アカシア・クロレラ詰合せ	7	1kg各1ヶ	¥ 4,300	琥珀のハンガリーアカシアと緑の蜂蜜クロレラハネーのユニークな贈答品です。	
ステックハネー	8	100木箱入	¥ 4,500	ハチミツ1回分の適量(15g)を、スティック状の容器に収納したものです。	
ハニーハーブス	9	240粒	¥ 6,000	8種類のハーブ(葉草)エキスに、蜂蜜・ローヤルゼリーを配合したノド飴。	
生ローヤルゼリー	10	35g	¥ 6,000	ローヤルゼリーの品質は採取時限に左右されます。所謂「48時間モノ」が最高純度のもといわれます。本品は48時間モノの鮮度・酸度(R物質)・諸成分を分析し、ヴァイタル48の品質規格に適合したオリジナルブランドです。ローヤルゼリーは体質を向上し、予防食品として、人々の健康づくりに貢献し、その愛用者は実に500万人を超えています。ゴールド200(粒)は(生)を凍結乾燥の上、独自の製法により、1粒僅か300mg中、実に200mgの生ローヤルゼリーを含有させることに成功した、業界随一を誇る製品です。	
ヴァイタル48	11	100g	¥13,000		
粒ローヤルゼリー	12	100粒	¥ 5,000	花粉は完全食品といわれ、蜂蜜・ローヤルゼリーの栄養成分は花粉に由来します。	
ゴールド200	13	300粒	¥12,000		
食用花粉(ビーポーレン)	14	100g	¥ 3,000		
プロポリス	ユーカリナー(粒)	15	約300粒	¥ 6,000	プロポリスは蜜蜂が、環境浄化・生活防菌のために作る天然の抗生物質です。成分は20種類を超えるフラノボイドで、これほど多くフラノボイドを含む物質は他に有りません。フラノボイドは緑茶に含まれ私たちの健康を守っています。プロポリスは現代医学、特にガン学会が最も注目する物質で、臨床効果が度々発表され、愛用者が急増中です。(生)は香気が強いので、当初は(粒)をお薦めします。
	特選蜂精(生)	16	30ml	¥10,000	
	特選蜂精(生)	17	桐箱30ml	¥13,000	

<p>幼児より白寿まで健康づくりの甘味料 ハンガリーアカシア(蜂蜜)</p> 	<p>壮年期の活力源「ローヤルゼリー」 ゴールド200(粒)</p> 	<p>高齢者の予防対策に「プロポリス」 ユーカリナー(粒)</p> 	<p>ノドを守り、ノドに優しいノド飴 ハニーハーブス</p> 
--	--	---	--

(健康食品は品質が生命です。価格破壊は品質破壊と表裏になります。業者は価格相応の商品を造りだすからです。)

特典：ご注文者には上記「◎ハーブス」を1箱贈呈

★ご希望者は電話・葉書で連番・個数・金額・電話の外、「緑丘」をお知らせ下さい。  
なお、経費高騰の折から、注文総額¥5,000未満は実費運賃をご負担願います。



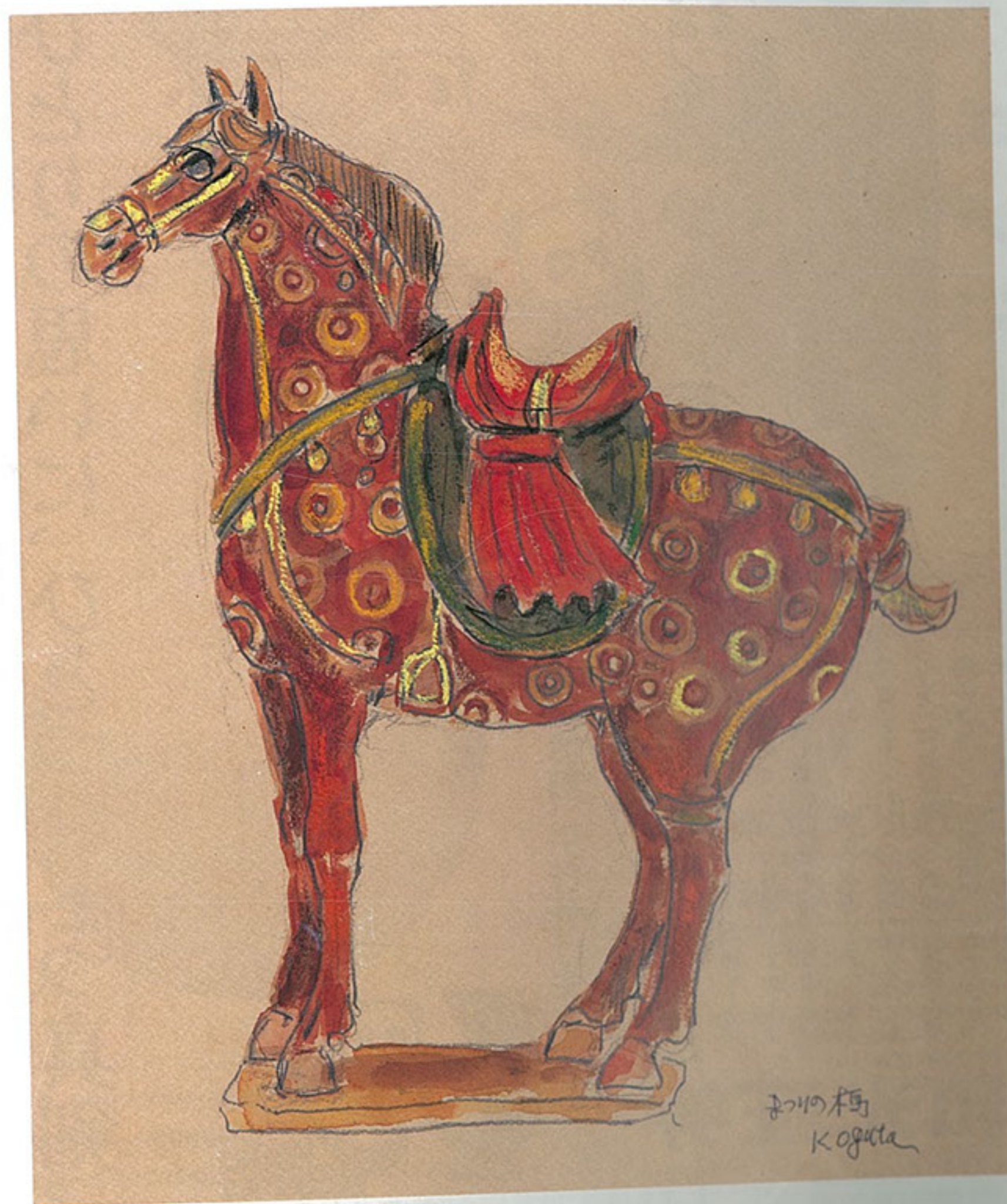
創業明治41年・健康で明るい家庭のパートナー

〒175 東京都板橋区高島平9-15-5

埼玉養蜂株式会社 緑丘友の会係 TEL.03-3936-8900 FAX.03-3936-7328



# 緑丘



社団法人 緑丘会

緑丘  
〔第八十号〕

平成八年八月二十六日

緑丘会東京事務所

〒170 東京都豊島区東池袋三ー一ーサンシャイン60(57階)  
電話 〇三(三九八一)ー三三四〇

社団法人 緑丘会

# NIPPON

## おかげさまで100周年

私たち日本製粉は、1896年(明治29年)  
日本で初めての欧米式設備による製粉会社としてスタートし、  
以来100年、伝統と技術を積み重ねて来ました。

いま、その成果は、信頼のブランドとなり、  
人と食との絆を、より優しく、より温かい関係にしています。

今、創立100周年を機に、  
コミュニケーションネーム「ニッポン」を誕生させ「NIPPON」のロゴを定めました。  
これからも私たちは新しいおいしさの創造をめざし、  
次世紀へ新たな1歩を踏み出します。

おいしさを、一緒に。

### 日本製粉

相談役 香木 正雄

(昭和16年後期卒業)